

コース名	個別論点の特訓コース
科目名	簿記
回数	1回

3	枚中	1	枚目
サイン	井川		

総合問題 1

1. 現金
- ① 期限到来者利払
 - → ② 配当金領収書

現金 × ① 収入印紙 ⇒ 貯蔵品

② 先日付小切手 ⇒ 受取手形

2. 当座預金 ... 銀行勘定調整表

企業残高	銀行残高
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ⊕ 未済小切手 ⊕ 入金未記帳 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 繰後入金 ⊕ 未取付小切手 ⊖ </div>
XX ←	→ XX
	一致 → 一致
	B/計上額

(修正部) (修正部)

費用の未済小切手の処理

当座預金	XX	/	未払金	XX
------	----	---	-----	----

3. 債権 ... 貸倒の見積高

① 一般債権 ... 貸倒実績率

② 貸倒懸念債権 ... ^{本問は、}財務内容評価法 (債権金額 - 担保額) × 50%。

③ 破産更生債権等 ... 財務内容評価法 債権金額 - 担保額等。

4. 有価証券

① 売買目的有価証券 ... 時価, 当期損益。

② 満期保有目的債券 ... 償却原価法の適用。本問は定額法。

投資有価証券	XX	/	有価証券利息	XX
--------	----	---	--------	----

(債券金額 - 取得原価) × $\frac{1}{5}$ 年

コース名	個別論点の特訓コース
科目名	簿記
回数	1回

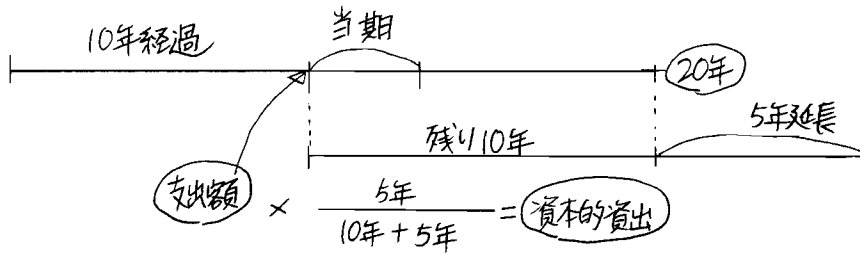
3	枚中	2	枚目
サイン	井川		

- ③ 子会社株式…取得原価の手ま。
- ④ その他有価証券…時価、部分純資産直入法

$$\times \left[\begin{array}{l} \text{投資有価証券} \times \times \\ \text{有価証券評価差額金} \times \times \\ \text{繰延税金資産} \times \times \end{array} \right]$$

$$\circ \left[\begin{array}{l} \text{投資有価証券評価損} \times \times \\ \text{繰延税金資産} \times \times \end{array} \right] / \left[\begin{array}{l} \text{投資有価証券} \times \times \\ \text{法人税等調整額} \times \times \end{array} \right]$$

5. 有形固定資産



$$\text{資本的償出} \times 0.9 \div 15 \text{年} = \text{減価償却費}$$

$$\text{当期の要償却額} \div 15 \text{年} = \text{減価償却費}$$

6. 1/7トウエス

市場販売目的の場合 ⇒ 3年

数量 or 収益で減価償却費を計算。本問は数量

$$\textcircled{1} \text{未償却残高} \times \frac{\text{当期の実績数量}}{\text{当期の実績数量} + \text{当期末以降の購入数量}} = \text{減価償却額}$$

$$\textcircled{2} \frac{\text{未償却残高}}{\text{残存有効期間 (2年)}} = \text{均等割合償却額}$$

⇒ 大抵右側の当期の減価償却費とする。

コース名	個別論点の特訓	コース
科目名	簿記	
回数	1	回

3	枚中	3	枚目
サイン	井川		

7. 退職給付引当金

$$\text{勤務費用} + \text{利息費用} - \text{期待運用収益} = \text{退職給付費用}$$

退職給付費用	××	/	退職給付引当金	××
--------	----	---	---------	----

拠出時の仕訳 ⇒ あるべき仕訳

退職給付引当金	××	/	現金	××
---------	----	---	----	----

8. 社債 … 満期償還社債の繰上償還

定額法による償却原価法

償却原価	-	買入価額	=	社債償還損益
------	---	------	---	--------

9. 自己株式の処分 ⇒ あるべき仕訳

現金	××	/	自己株式	××
			自己株式処分差益	××

→ その他資本剰余金